

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、2024年より平和統一運動を同世代や後に続いていく世代の力とするために、この賞を創設いたしました。

**■今年の募集テーマは「ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス ）」**

SNS（Facebook、X、Instagram、Line、KakaoTalk、TikTok、YouTube など）を通じた在日同胞や海外同胞との出会いや体験。自分が携わってきたプロジェクトにSNSを活用して成功した事例や失敗。そして、そこから得られた教訓など、これらの事を通じて、今の時代に合う平和統一運動をどのようにしたらよいか、またどのような発信が良い影響をもたらすのかなど、様々なエピソードを募集いたします！

| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| --- | --- |
| 募集期間 | **青年スピーチ部門：**募集日程及び大会日程は、ホームページ及び機関誌『平統解放』にてお知らせ致します。※ 第１連合会（北関東・東京・南関東）、第２連合会（北海道・東北）、第３連合会（東海、北信越）、第４連合会（近畿・中国・四国）、第５連合会（九州・沖縄）において、2025年6月15日（日）まで地方予選を行い、それぞれ代表１名を選抜し、本部に映像提出。**会員及び一般部門　エッセイ募集：**　2025年４月１日（火）～2025年６月15日（日） |
| スピーチ原稿規程 | **【青年スピーチ部門】**５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。**【会員及び一般部門　エッセイ募集】**800字以上3000字以内、１人１点。※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2025年６月下旬　ホームページにて公開。入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。両部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：　　私から始まるSNS発信**

**お名前：　　田口理恵**

(下記より本文をご記入ください)

皆様、こんにちは！

皆様は、SNSに対して、どれくらい親しみを感じていますか？　インスタグラム、X、LINEなど、身近にある存在だと思います。

今回のテーマである『SNS』は、2000年代から、「mixi」というサービスに端を発し、世間で広まるようになったそうです。

私は1997年に生まれ、初めて自分用として与えられた携帯も、ガラケーではなく、スマートフォンでした。友達との連絡先交換は、もちろん「LINE」。まさに、SNSネイティブ世代といえるでしょう。

今日は、皆様に1つ、思い出してみていただきたいことがあります。

SNSが登場するまで、皆さまはどのように過ごしていましたか。家族に帰りを知らせるとき、友達と待ち合わせをするとき、どのように連絡をとっていましたか。

一世代前では、公共の黒板にメモを書いたとか、「ポケベル」というものを使っていた、という話を聞いたことがあります。でも、SNSが発達した現在、その過去を想像できないほどに、いつでもどこでも連絡をとることができるようになりました。

学校での話題も、「ドラマのこれが面白かった」という話から、「XやTikTokでこれが話題だ」とか「YouTubeでこれが面白い」とか、SNSの内容が多くなりました。

TV番組でさえも、「これが今人気です」とSNSの延長線上の情報を発信していたりします。

マスメディアといわれる「大きな声」の発信から、個人発信の「たくさんの声の集合体」が重視されるように時代が移り変わってきました。

しかし、たくさんの声が発信されるからこそ、匿名という性質も相まって、負の声も目につくようになりまきた。「アンチ」や「ヘイト」と言われる投稿です。

たくさんの負の声を受けたとき、人は段々と鬱になっていきます。しかも、個人で発信するからこそ、個人でその負の声と対さなければなりません。実際に、SNSの使用時間が長いほど、自己肯定感が低くなる傾向になる、というデータも出ています。

私の友人も、SNSを通して気分が落ち込み、X、インスタグラム、LINEでさえも見ることができない時期がありました。当時は、全然連絡がとれず、心配しましたが、今では友人も精神的に回復し、元気に過ごしています。

私は彼女に「SNS断ちしようと思わなかったのか」尋ねました。すると、「今はもう、なんでそんなに落ち込んでたんだっけ、という感じなんだけどね。やっぱり、繋がりって大切だなと思って。推しの力は偉大だ！」と話していました。

友人は、アイドルが好きで、アイドルの投稿を見ながら、力をもらっているそうです。

私は、この話を聞き、「人はどうやっても一人では生きていけないからこそ繋がりを大切にするし、力をもらえる人の方へと繋がっていこうとするんだな」と感じました。

『私から始まる平和統一』というスローガンを聞いたとき、この時代にぴったりの内容だと思いました。なぜなら、一人ひとりの発信が力をもつ時代だからです。個人の声は小さく感じるかもしれませんが、必ず誰かに届いているし、その届いた誰かを不幸にも幸福にもします。それを私たちは理解しなければなりません。

私は、WEBディレクターという職に就いていたことがあるのですが、そこで、SNSの発信において、大切なことが2つ発見しました。それは、発信し続けること、そして、見る人の為にあること、です。

SNSでは、「いいね」というわかりやすい指標がある分、その数値だけを見て一喜一憂しやすいです。しかし、「いいね」は、どれだけ人の心に届いたかの指標にはなり得ません。すぐに成果が見られるものではないからこそ、辛抱強く発信することが大切です。

そして、その発信は、自分の言いたいことを言う以上に、誰かの為にあること、です。「自分が、自分が」という人の言葉を誰が聞きたいでしょうか。人の心に届ける発信をするには、その人の為の言葉を発信する必要があるのです。

この時代において、私たち一人ひとりの声に、行動に力があります。発信していくというのは、恐ろしく感じる側面もあるかもしれませんが、私たち一人ひとりが主人公となって、よりこの世界を輝かせていきましょう。